

# 鳥栖市都市計画マスタープラン 全体構想（骨子案）

## 鳥栖市の特性

- 通勤、通学、買い物など生活の便利さとともに、水と緑に恵まれた豊かな自然環境に囲まれ、暮らしやすい環境が整っている。
- 九州陸路交通の要衝として優れた立地特性を有し、九州有数の内陸工業都市、物流拠点都市として成長を続けている。
- 鳥栖プレミアム・アウトレットやJリーグサガン鳥栖のホームスタジアムであるベストアメニティスタジアムなど九州を代表する広域的な集客施設が立地している。

## 都市づくりの問題点・課題

	問題点・課題	取り組みの方向性
人口	①人口減少・超高齢社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少地域への対応</li> <li>・持続可能な都市構造への転換</li> </ul>
市街地整備	②市街地の拠点性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥栖駅周辺整備による利便性向上と中心市街地の魅力向上</li> <li>・九州新幹線の広域性を活かす機能誘導</li> </ul>
土地利用	③良好な住環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した住宅の更新、空き家活用</li> <li>・地域特性に応じた住環境向上、集落機能の維持</li> </ul>
	④商業機能の適正配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郊外への大規模商業施設の立地抑制、中心商業地の活性化</li> <li>・地域住民の生活利便性向上</li> </ul>
	⑤新たな産業の受け皿確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな産業の受け皿の確保</li> </ul>
交通体系	⑥円滑な道路ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地内道路の交通混雑緩和</li> <li>・計画的な都市計画道路の整備</li> </ul>
	⑦公共交通ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民生活に必要な移動手段の確保</li> <li>・路線バスの運行形態の効率化</li> </ul>
自然環境	⑧自然環境の保全と地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の適切な保全、地域資源の活用</li> <li>・自然、レクリエーション機能の充実</li> </ul>
都市施設	⑨安全で快適な生活道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路の整備、歩行者空間の形成</li> </ul>
	⑩公園・緑地の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の機能向上、都市内緑化の推進</li> </ul>
防災・防犯	⑪災害に強い都市基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスペースの確保、防災拠点施設の整備</li> <li>・危険箇所の災害対策、住宅地の適正な誘導</li> </ul>
	⑫防犯対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪の発生を抑制する都市空間の整備</li> </ul>

## 将来像・基本方針

### 【将来像】鳥栖市はどんなまちを目指すのか？

- 抜群の交通利便性を誇る「九州のクロスポイント」「産業都市」としての鳥栖市のポテンシャル（強み）を更に高めていく。
- 現在の市街地のまとまりや蓄積された都市基盤を活かし、周辺の集落や田園、里山などの自然空間とも調和した市街地を形成する。
- 鳥栖市が将来にわたって活力を維持していくため、まちを支える市民一人ひとりの個性が輝く、快適で魅力的な住みやすいまちを目指す。

将来都市像

## 「都市と自然が調和し、人が輝く快適なまち」

### 【基本方針】将来像を実現するため目指すべき方向性

#### 方針1 便利で快適なまち

- 計画的な土地利用を推進し、コンパクトで良好な都市環境を形成する
- 道路・公共交通ネットワークを強化し、市内外の移動を円滑化する
- 生活基盤整備や空き家等の利活用により、快適な居住環境を整える

##### <主な取組例>

- 地域特性に応じた住宅地の整備と居住環境の形成
- 日常生活圏における生活サービスの維持・確保
- 計画的な都市計画道路の整備
- 公共交通の効率的な運行
- 計画的な都市施設の整備・適正管理
- 生活道路の幅員確保や歩道整備
- 空き家等及び跡地の活用促進

#### 方針3 自然と共生するまち

- 農地や山林などの自然環境を適切に保全し、自然と調和した生活や生産機能を維持する
- 自然・歴史・文化など地域資源の魅力を高め、広域的な観光交流を促進する
- 豊かな緑の空間と水辺環境をつなぐ、水と緑のネットワークを形成する

##### <主な取組例>

- 開発許可制度の運用による観光振興・集落の維持
- 河内防災ダム周辺等のレクリエーション拠点の機能充実
- 史跡等の整備・保全
- 魅力的で安全な公園・緑地の整備
- 豊かで清らかな水辺環境の整備

#### 方針2 活力と賑わいのあるまち

- 鳥栖駅・新鳥栖駅を中心とした賑わい拠点を形成する
- 新たな産業団地の整備と企業誘致により、働く場を確保する
- 市街地や観光資源等との回遊性を高め、人の交流を活発化する

##### <主な取組例>

- 鳥栖駅を中心とした駅周辺の一体的な整備
- 中心市街地の賑わい創出
- 新鳥栖駅周辺の拠点性を活かす土地利用
- 鳥栖駅・新鳥栖駅におけるゲート機能（案内、二次交通、飲食物販など）の強化
- 新たな産業団地の確保による企業誘致の推進、企業支援
- 観光資源（集客施設等）との周遊、市街地への誘導

#### 方針4 人にやさしいまち

- 市民の生活と財産を守る災害に強い都市基盤を整備する
- 安全で安心して暮らせる事故や犯罪のない環境を整える
- 文化活動やスポーツに親しむ環境を整える

##### <主な取組例>

- 避難地や避難路の確保
- 浸水被害のおそれのある個所の河川・排水路整備
- 防災拠点施設の整備
- 上下水道施設の更新・耐震化
- ユニバーサルデザイン・バリアフリーの推進
- 通学路の交通安全対策
- 防犯対策の充実
- 文化・スポーツ施設の更新・機能充実

# 鳥栖市都市計画マスタープラン 全体構想（骨子案）

## 将来都市構造

### ■将来都市構造とは

都市構造とは	都市の特徴や骨格を概念的に表すもの
拠点とは	都市の中で諸機能が集積し中心的な役割を果たす地区を示すもの
軸とは	都市の主要な動線を示すもの
ゾーンとは	主な土地利用を示すもの

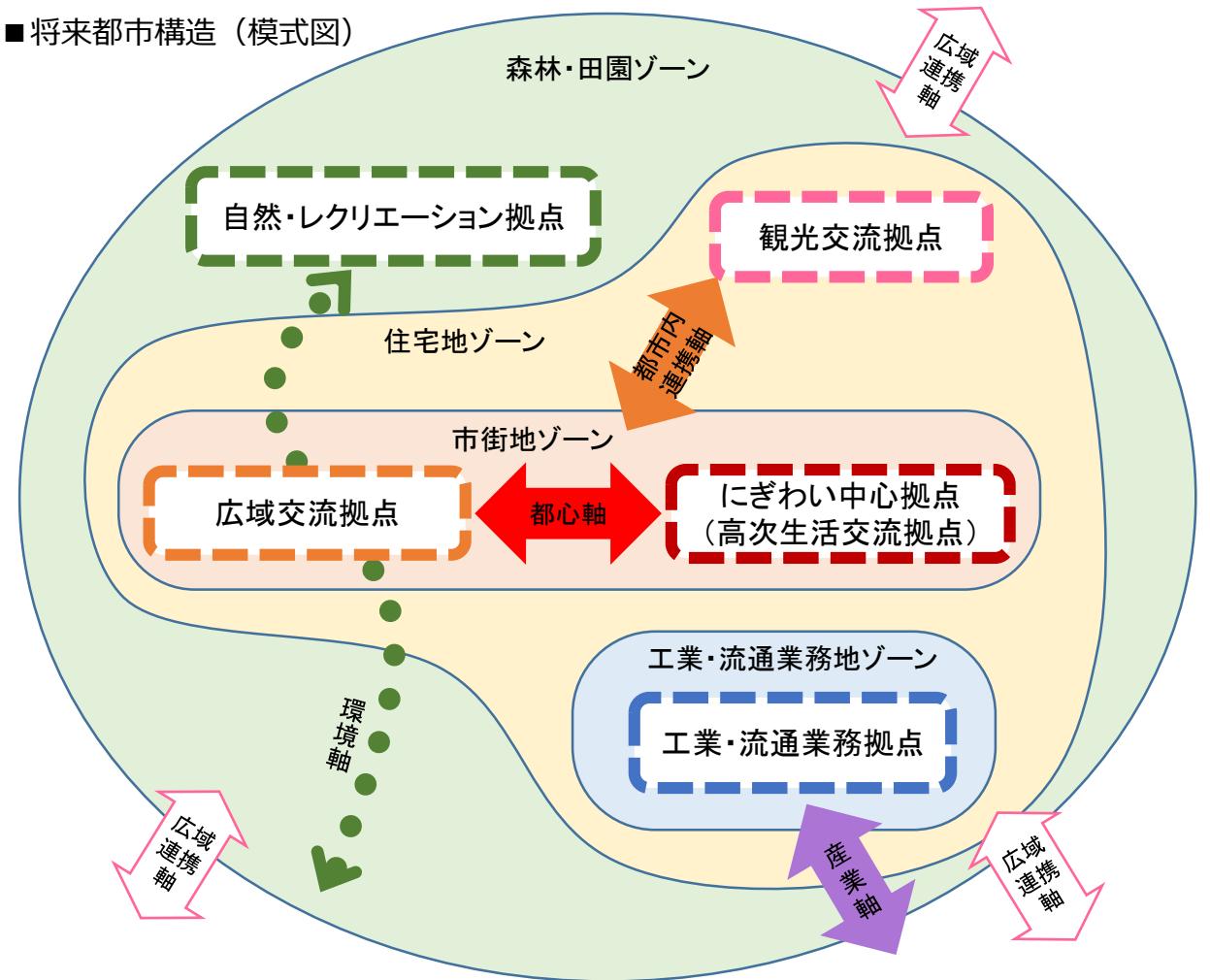
### ■拠点

拠点名	内容
にぎわい中心拠点 (高次生活交流拠点)	日常生活に密着した商業・業務機能とともに、スポーツや交流などの機能を有する市の中心拠点
広域交流拠点	観光やビジネスなどの広域的な交流を促進する拠点
観光交流拠点	広域的な集客を活かした交流拠点
自然・レクリエーション拠点	豊かな自然を活かし、休息・余暇を楽しむ機能を有する拠点
工業・流通業務拠点	工業・流通業務機能が集積する拠点

### ■軸

軸名	内容
都心軸	にぎわい中心拠点と広域交流拠点を結ぶ、市の中心部となる軸
都市内連携軸	市内の拠点や施設などを結び、交流や連携を図る軸
産業軸	工業・流通業務拠点と主要幹線道路を結ぶ軸
広域連携軸	他都市と広域的に結び、都市間の交流や連携を図る軸
環境軸 (水と緑のネットワーク)	河川や緑地などの良好な自然環境・景観が連続する、都市と自然を結ぶ軸

### ■将来都市構造（模式図）



### ■ゾーン

ゾーン名	内容
市街地ゾーン	にぎわい中心拠点と広域交流拠点を一体的に捉えた、行政、教育、文化、スポーツ、商業、業務などの高次都市機能の集積を活かし、にぎわいを創出するゾーン
住宅地ゾーン	主に市街化区域を対象とし、良好な居住環境を維持し、一定の住居地密度を確保するゾーン
工業・流通業務地ゾーン	工業専用地域や流通業務地区区域を対象とし、住宅地との混在を避け、工場や倉庫を配置するゾーン
森林ゾーン	主に山間部を対象とし、豊かな自然や歴史資源を保全・活用するゾーン
田園ゾーン	主に農村部を対象とし、豊かな田園環境を保全するとともに、集落の維持・活性化を図るゾーン